学校番号	２０５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高校生の美術１（日本文教出版）						
副教材等							

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・普段から様々なものに興味･関心をもち、視点（線）を注ぎ、移りゆく自然の色や形にも注目してみる。（本校には裏山がある。）
・構想を練るときは、必要な資料を調べる。（インターネットを活用してもよいが美術室には多くの参考資料があるし、図書館なども利用する。）
・安易な方向に走らず、作品の完成度を高める努力をしてほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
造形的な視点を豊かにするために必要な知識と表現における創造的に表す技を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
表現における発想や構想と、鑑賞における見方や感じ方を深められるようにする。
【学びに向かう力、人間性等】
学習に主体的に取り組む態度や生涯にわたって美術を愛好する心情、豊かな感性を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な美術の表現をするために必要な技術を身に付け、造形的特徴をとらえ理解し意図に応じて表現方法を創意工夫し表しているかを評価します。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考えるとともに主題を理解し発想や構想を練ったり美術に対する見方、考え方を深めたりしているかを評価します。	主体的に創造活動に取り組み、新たな視点や気づきを表現に取り入れながら活動に取り組めているかを評価します。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	平面デザイン	【デザイン】 ・色彩構成(基礎) ケント紙にアクリル絵の具で着色する。 課題の条件を駆使して、変化と、まとまりのある構成をする	a: 形と色の働きを考えながら構想を練り、表現しようとしている。限られた条件の中で、形の工夫と、色の微妙な違いや美しさがでているか。 b: 絵の具の特性を生かし、表現方法を工夫して、条件や計画を基に表現している。 c:アイディアスケッチを何度も試行し創造的な表現につなげられたか。鑑賞や振り返りシートで主体性をもって取り組むことができたか。	ワークシート アイディアスケッチ 提出作品	取り組み状況 提出作品	ワークシート アイディアスケッチ 振り返りシート
	幻想画	【絵画】【鑑賞】 ・過去の作品の鑑賞 ・鉛筆を主体として与えられた言葉のイメージから幻想的な世界を表現する ・高校展の鑑賞	a: 今までの作品にとらわれず自分のもっている個性をどう生かしていくか。イメージ用語句から、どのように発想し、構想を練るか。 b:主題にあった表現ができているか。 鉛筆の使い方の工夫（点、線、面、濃淡の使い分け） c: 同年代の生徒の作品を鑑賞して、刺激をうけ、自分の中に生かしていこうとする意識を高める	アイディアスケッチ 提出作品	取り組状況 提出作品	アイディアスケッチ 振り返りシート レポート
2学期	風景画	【絵画】【鑑賞】 ・風景画 具象的表現 校内の風景	a: しっかりとモチーフを観察し、テーマに沿って、特徴を生かして構成しているか。 絵具の特徴を生かして表現できているか。 b:造形的な見方、考え方を創造的に表現できているか。 c:風景やモチーフを見つめて何度も下描きを行い創造的な表現に結びつけられたか。振り返りシートで主体性をもって意見交換や鑑賞に取り組むことができたか。	アイディアスケッチ 制作途中の作品 提出作品	取り組み状況 制作途中の作品 提出作品	アイディアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート

3 学 期	立 体	【立体】【デザイン】【鑑賞】 ・段ボール素材を使って靴をモチーフに立体的な表現をする	a: 意図に応じて材料や用具の特性を生かし、表現方法を工夫して、主題を追求して表現している。 b: テーマを基に感性や想像力を働かせて、思考し、創造的な表現の構想を練っている。 c: 他の生徒の作品などのよさや美しさ、作者の心情や意図と表現の工夫などを感じ取り、作品などについて理解を深めている。	アイディアスケッチ 提出作品	取り組み状況 提出作品	アイディアスケッチ 取り組み状況 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度